



中期経営計画説明会

2010年6月18日

取締役兼副社長執行役員
木村眞琴

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスク及び不確実性が含まれます。従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

- I. ニコングループが目指す姿
- II. 中期経営計画の概要
- III. カンパニー別経営計画
- IV. 財務体質と株主還元
- V. まとめ

企業理念 信頼と創造

常に新たな価値を提供し
成長し続ける
ニコングループとなるために

ニコンブランドの
拡がり

新規事業の
創出

CSR経営

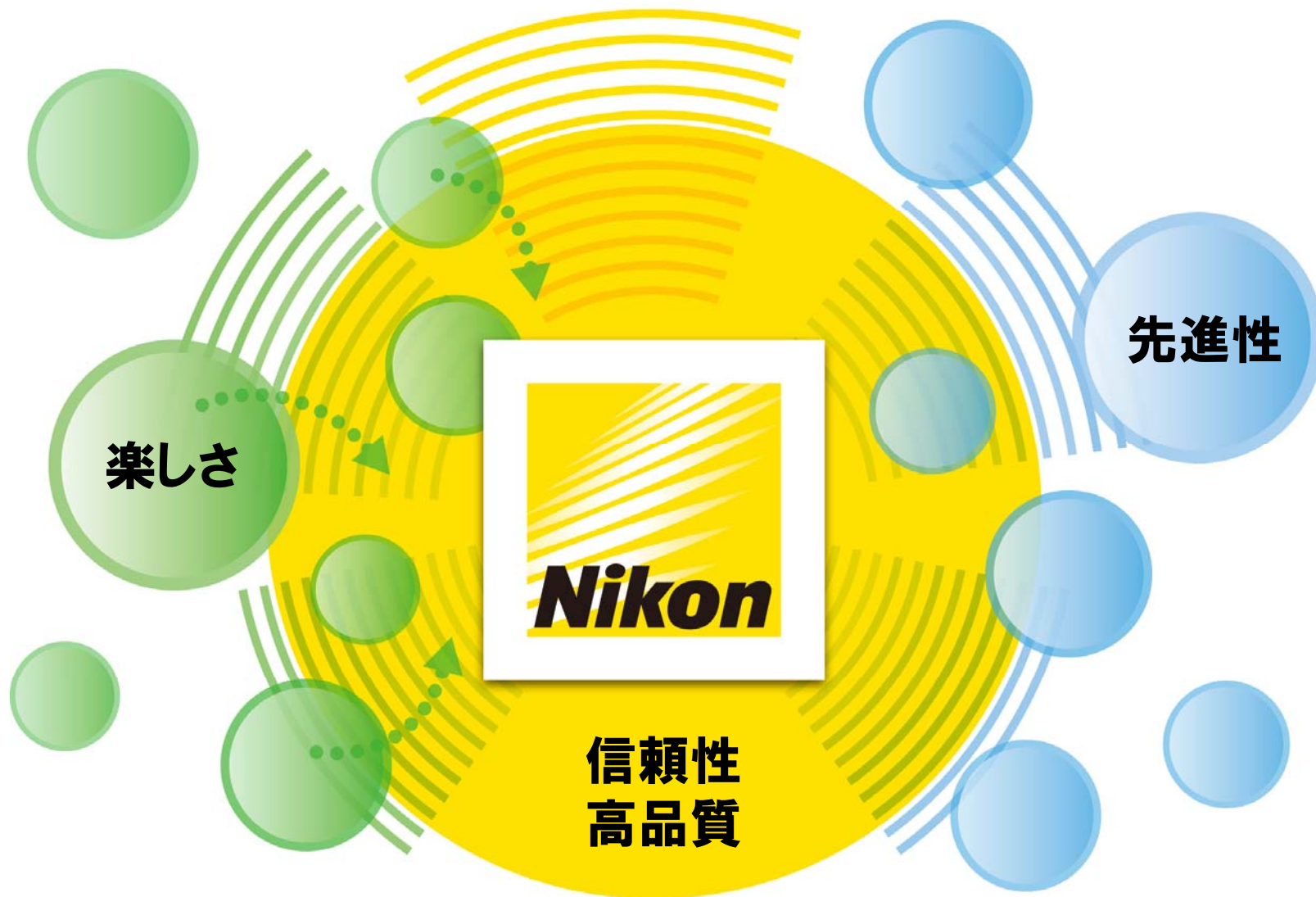
一体感とスピードの
ある組織の実現

事業機能の強化
とプロセス改革

ニコンブランドの拡がり



ニコンブランドの強みとして「先進性」をアピールし
「楽しさ」を付加する



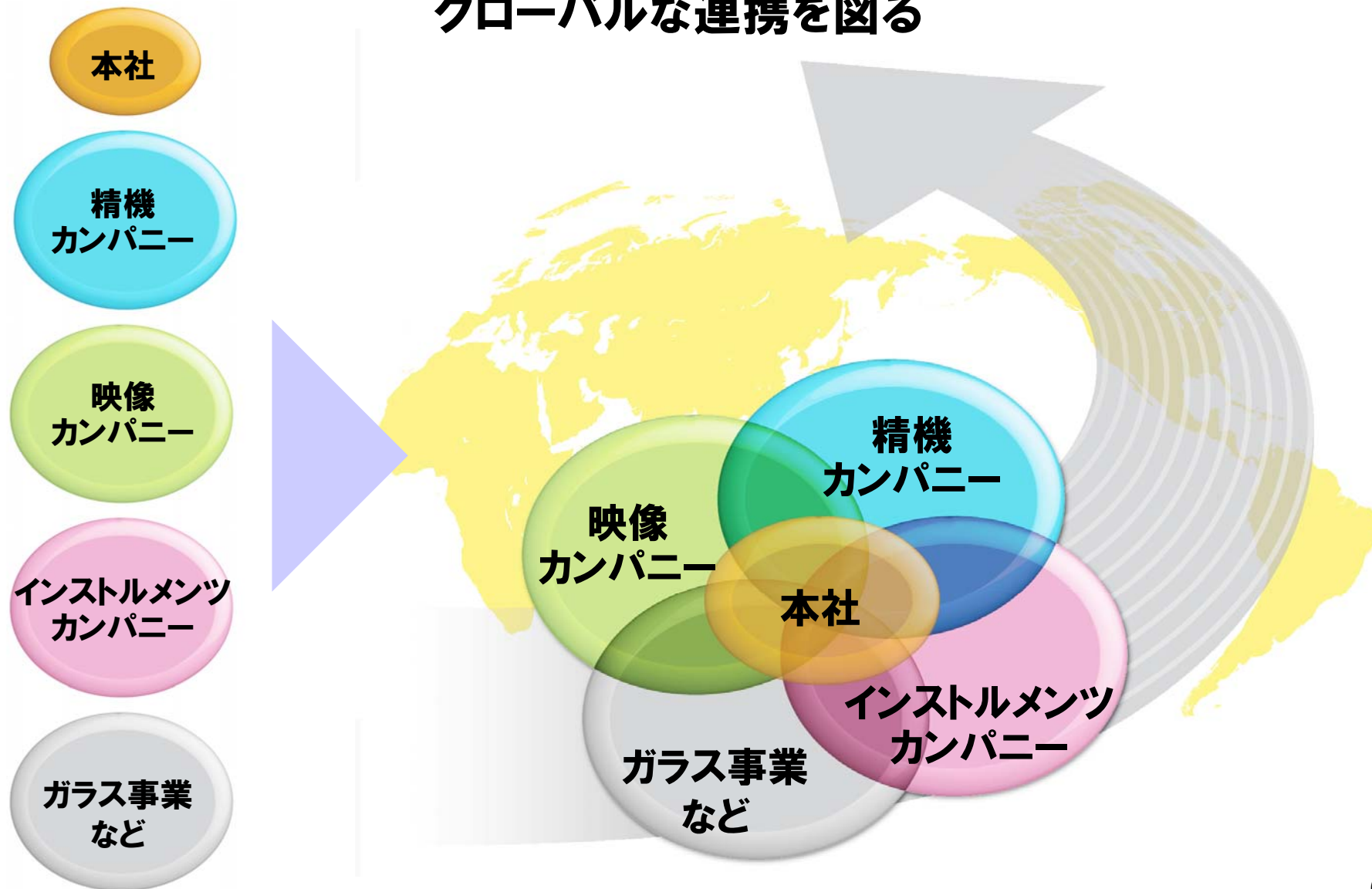
既存分野や新規分野で事業を創出する



一体感とスピードのある組織の実現



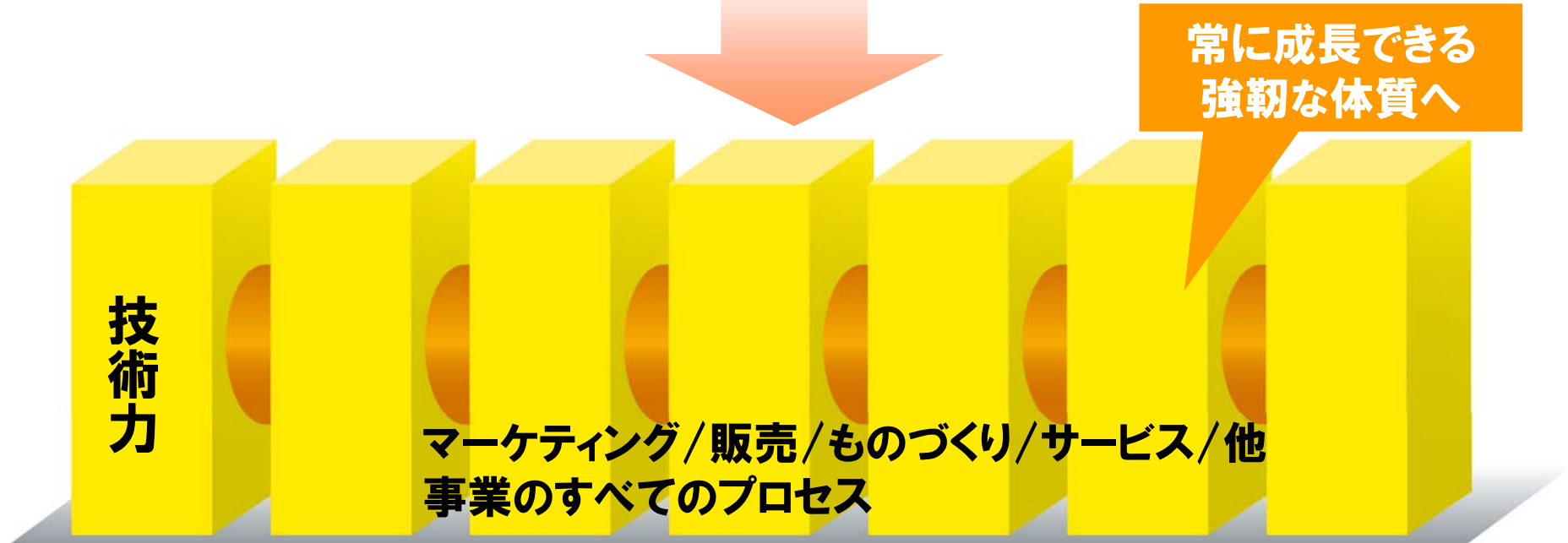
事業、本社が一体感とスピードを持ち自律的に活動しつつ
グローバルな連携を図る



事業機能の強化とプロセス改革



高い技術力に加えすべての事業機能が高いレベルで協働する



企業理念「信頼と創造」を実現していく
プロセスそのものである



Agenda

- I. ニコングループが目指す姿
- II. 中期経営計画の概要**
- III. カンパニー別経営計画
- IV. 財務体質と株主還元
- V. まとめ

経済動向

- 産業・地域によっては未だ温度差があるが、全体としては、成長基調
- 新興国のプレゼンスが益々拡大
- 為替は、1ドル=90円、1ユーロ=110円と想定（2013年3月期）

事業環境

精機事業

半導体:急速に拡大し
好調を維持
液晶:パネルの大型化と
高精細化
中国市場が拡大し
投資が堅調に推移

映像事業

競争が一層激化するも
継続的に成長
カメラ以外のデジタル事業
拡大

インストルメンツ事業

バイオ、産業ともに
成長局面が継続
分野によっては2桁成長
を想定

経営数値目標



既存事業でリーディングポジションを獲得
新たな事業の創出

	10年3月期	11年3月期	13年3月期
売上高	7,855億円	8,800億円	11,000億円
営業利益	▲139億円	520億円	1,200億円
当期純利益	▲126億円	300億円	650億円

為替の前提
10年3月期 USD 93円 ユーロ131円
11年3月期 USD 90円 ユーロ120円
13年3月期 USD 90円 ユーロ110円

経営数値目標



	10年3月期	11年3月期	13年3月期
売上高	7,855億円	8,800億円	11,000億円
■ 精機	1,501億円	2,100億円	2,800億円
■ 映像	5,695億円	5,900億円	7,200億円
■ インスト	451億円	600億円	800億円
営業利益 (対売上高比)	▲139億円 (-%)	520億円 (5.9%)	1,200億円 (10.9%)
■ 精機	▲586億円 (-%)	30億円 (1.4%)	280億円 (10.0%)
■ 映像	521億円 (9.1%)	520億円 (8.8%)	880億円 (12.2%)
■ インスト	▲93億円 (-%)	▲55億円 (-%)	40億円 (5.0%)

持続的成長のための設備投資を実行 研究開発費は売上高比 7% 水準を維持

精機事業



映像事業



インストルメンツ事業



2011年3月期～2013年3月期の累計

設備投資 : 総額 1,200億円 (前回計画比100億円増額)

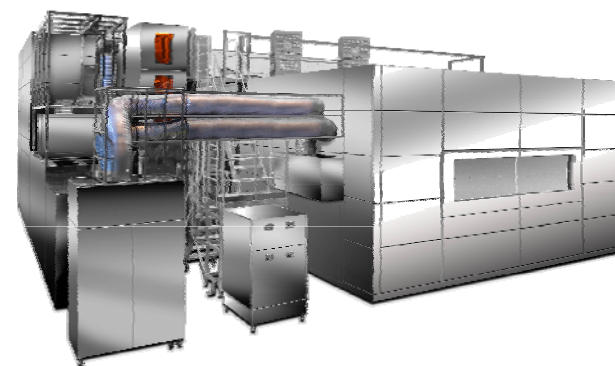
研究開発費: 総額 2,000億円 (前回計画比300億円増額)

Agenda

- I. ニコングループが目指す姿
- II. 中期経営計画の概要
- III. カンパニー別経営計画**
- IV. 財務体質と株主還元
- V. まとめ

精機カンパニー

**先端機市場でのシェア拡大と収益力強化
新製品・新規分野の創出**



重点施策

半導体露光装置事業

- 液浸露光装置の競争力向上によるシェア拡大
- 次世代露光装置・技術の開発推進
- 業務プロセス改革による事業体質の強化

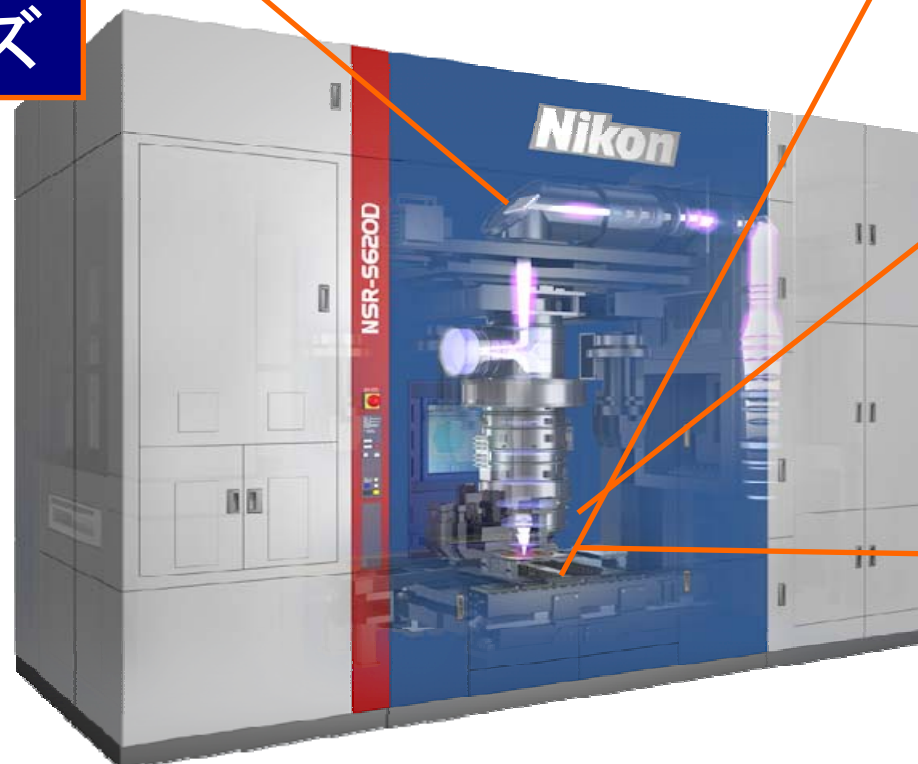
液晶露光装置事業

- 大型化や高精細化など、お客様のニーズに対応した製品展開
- 中国市場への積極的参入

重点技術

- 液浸技術の進化に注力
NSR-S620プラットフォーム

NA 1.35
投影レンズ



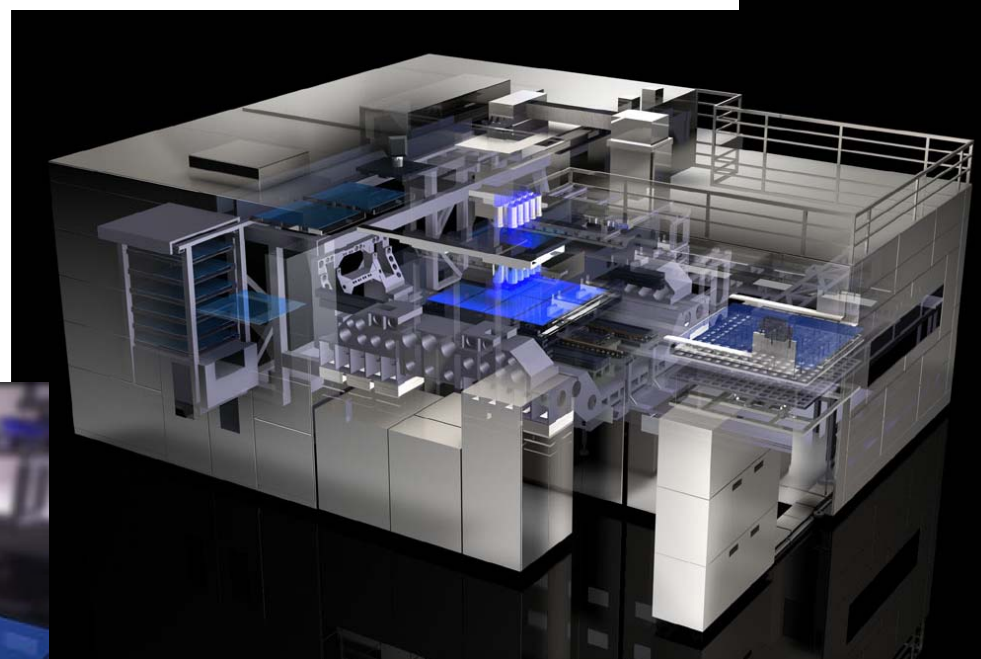
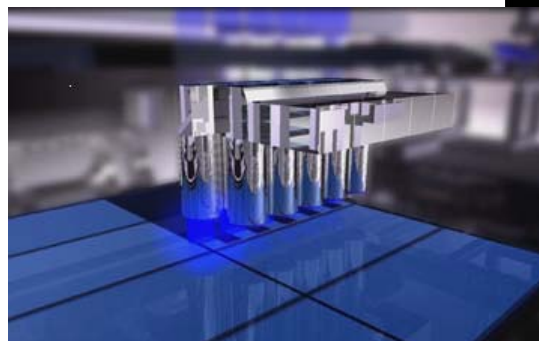
重ね精度
2nm

スループット
200枚/時

据付期間
20日間

重点技術

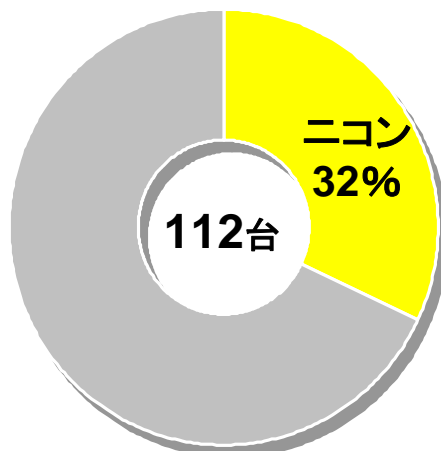
- 大型化のニーズにアドバンテージのある独自のマルチレンズ方式
- 高性能・高精細化に向けた装置開発推進



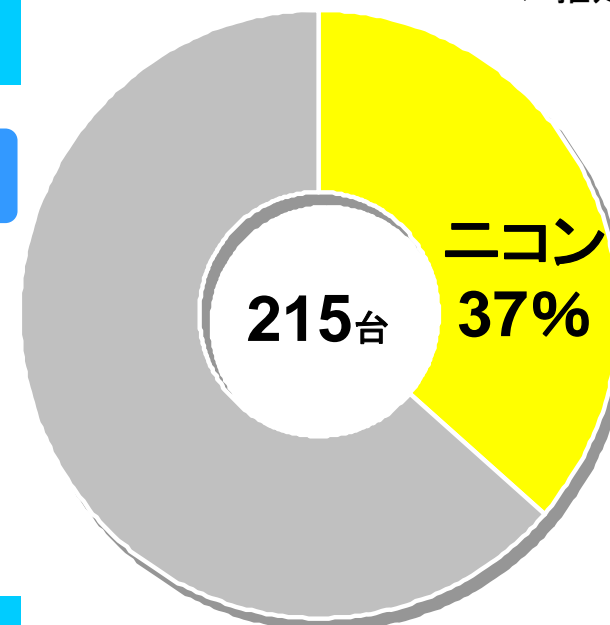
*ニコン推定

市場とシェア：半導体露光装置

2010年3月期

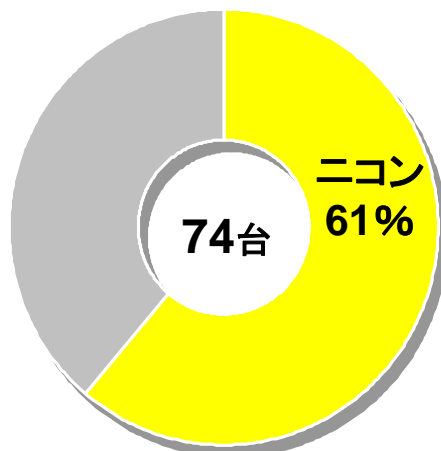


2013年3月期

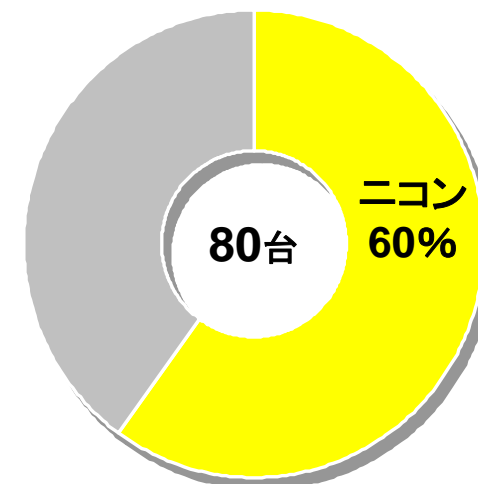


市場とシェア：液晶露光装置

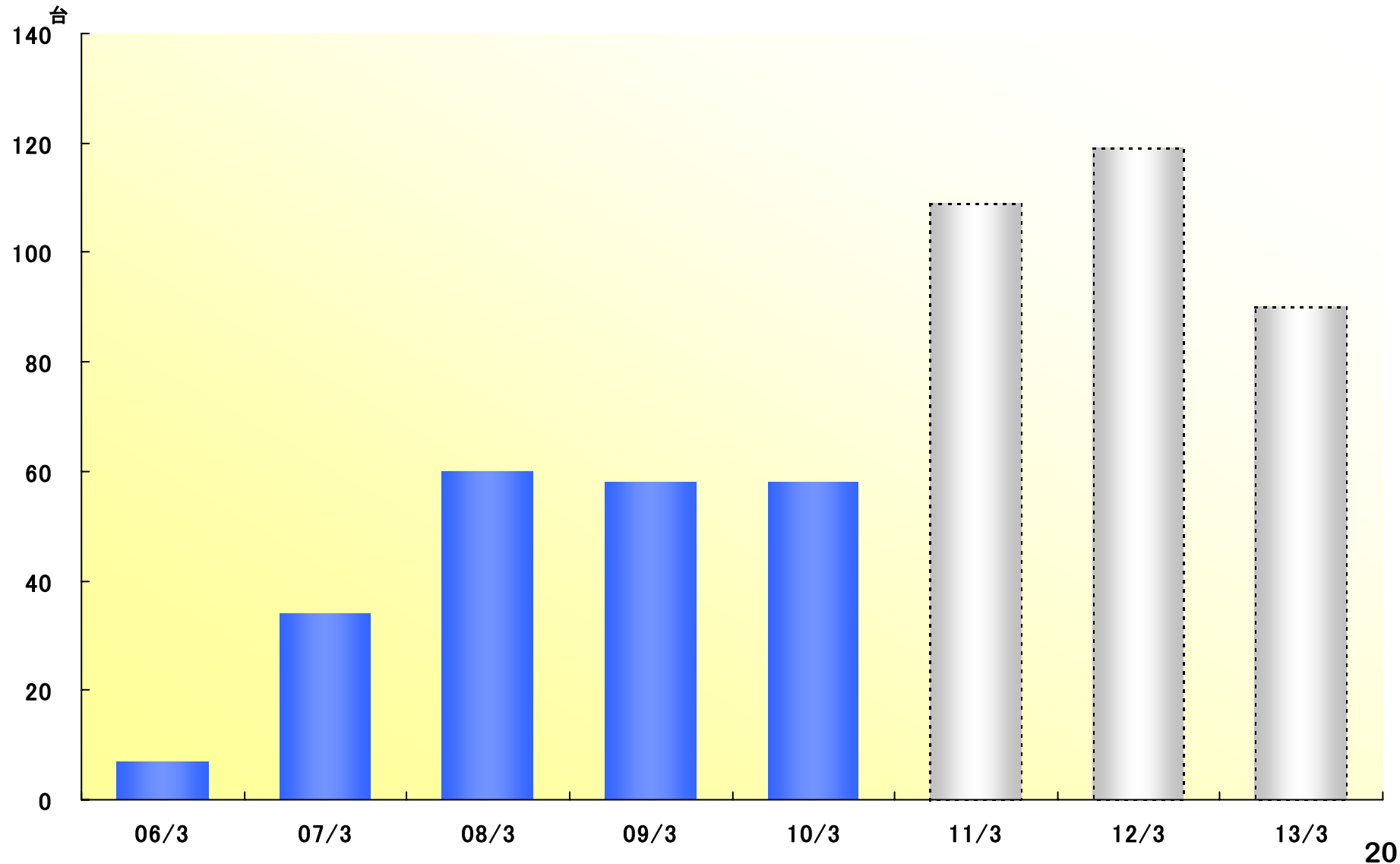
2010年3月期



2013年3月期



液浸露光装置市場（台数）



映像カンパニー

デジタルカメラのリーディングカンパニー
映像分野の事業領域の拡大



重点施策

- ブランドに「先進性」「独創性」「楽しさ」を付加
- 次世代商品/新規領域商品による市場の創造
- 事業体質の継続的な改善による収益力の強化

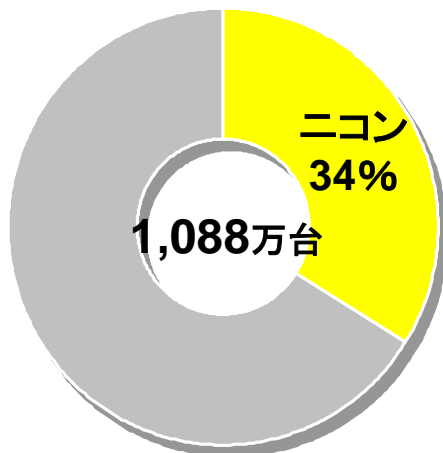
デジタルイメージコミュニケーション



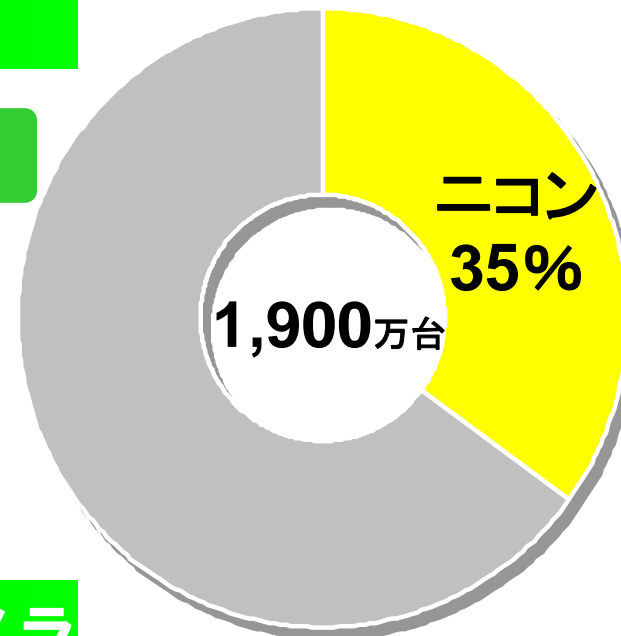
*ニコン推定

市場とシェア：デジタル一眼

2010年3月期

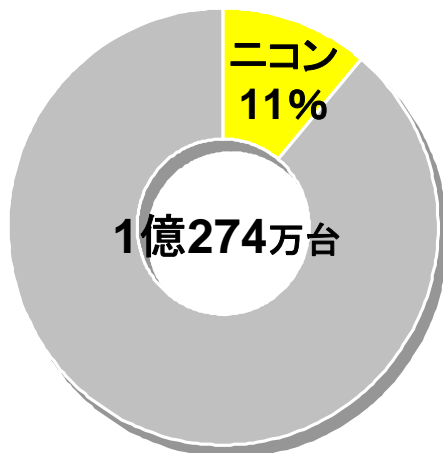


2013年3月期

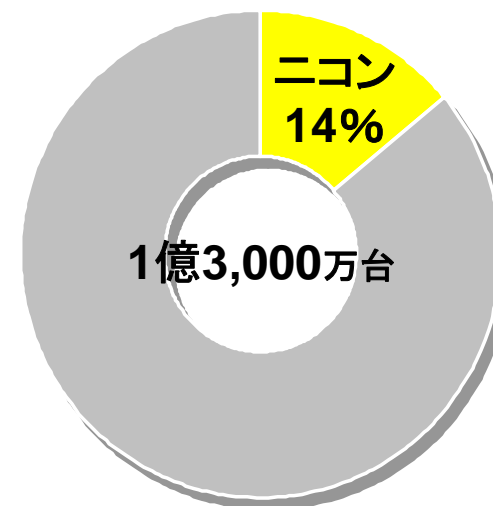


市場とシェア：コンパクトデジタルカメラ

2010年3月期

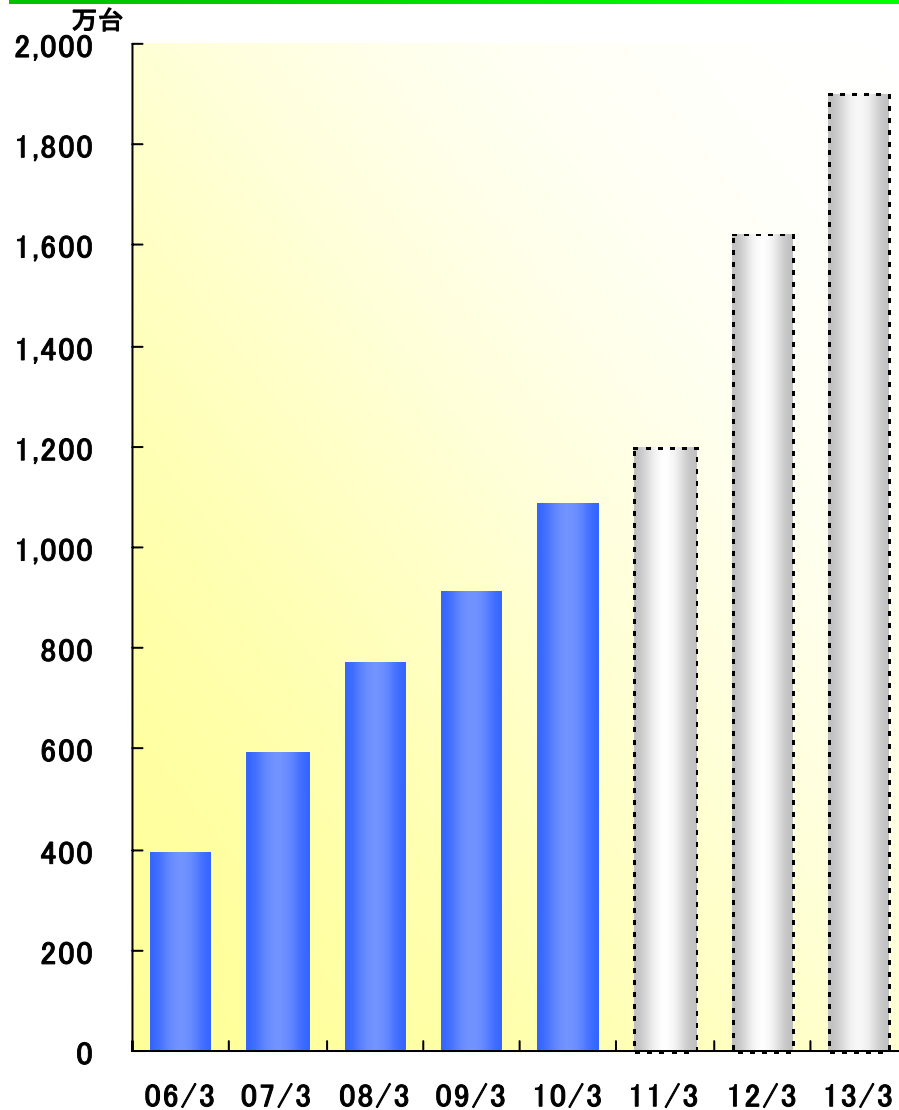


2013年3月期

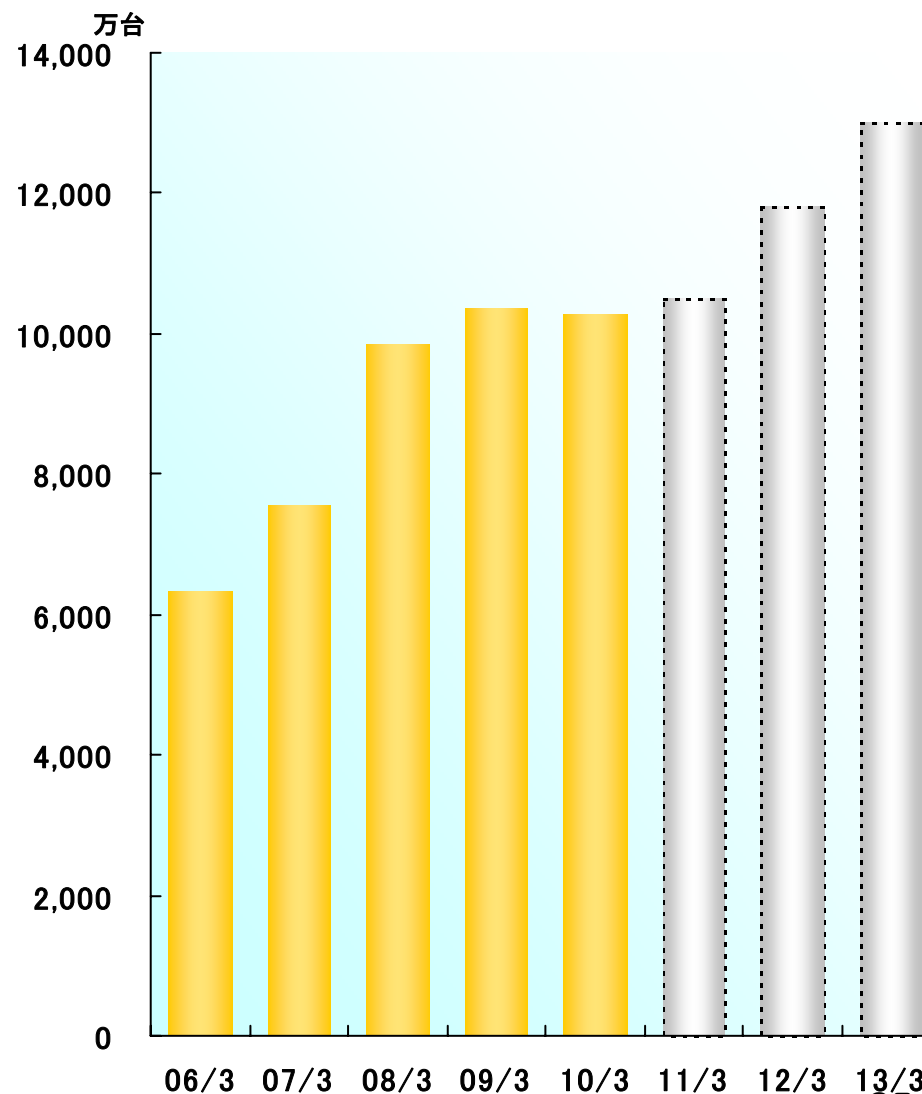


*ニコン推定

デジタル一眼市場(台数)



コンパクトデジタルカメラ市場(台数)



インストルメンツカンパニー

既存事業でリーディングポジション確立
バイオや測定機分野で新たな事業創出



重点施策

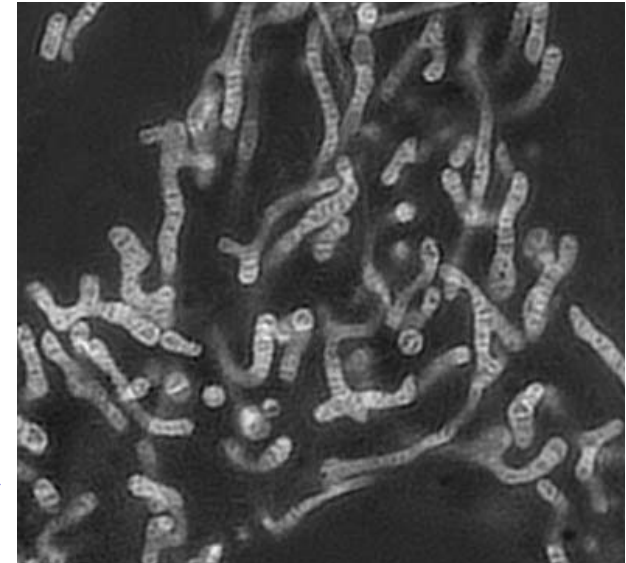
- 顕微鏡事業は、先端研究分野に注力し、リーディングポジションを確立
- 測定機事業は、非接触三次元測定分野でリーディングポジションを確立
- バイオと測定機の領域で新事業を探索

重点技術

Live Cell Imaging

- コンフォーカル顕微鏡
A1/C1シリーズの機能拡充
- 超解像技術の開発及び導入

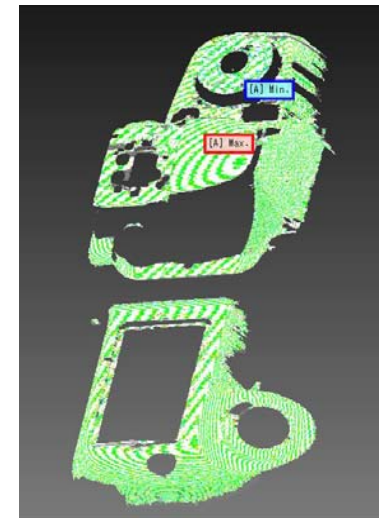
超解像顕微鏡
「N-SIM」での観察



非接触による多様性計測

- 「寸法、粗さ、形状」を計測できる
非接触計測機を開発
- 現場計測とロボット計測への展開
- X線計測を含めた多様な計測技術の提供

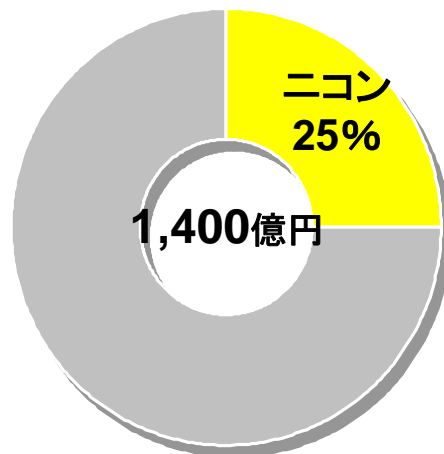
一眼レフカメラ
ボディを計測



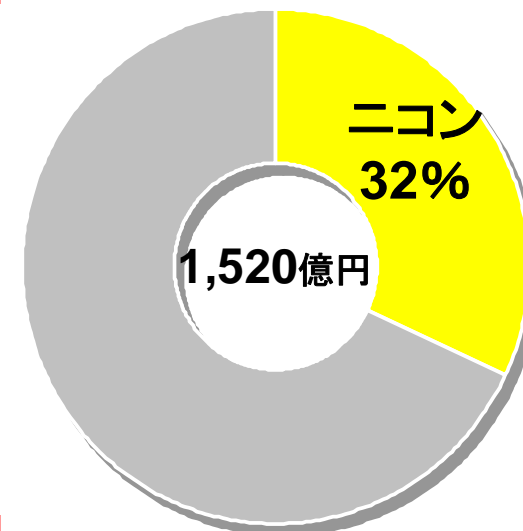
*ニコン推定

市場とシェア：生物顕微鏡

2010年3月期

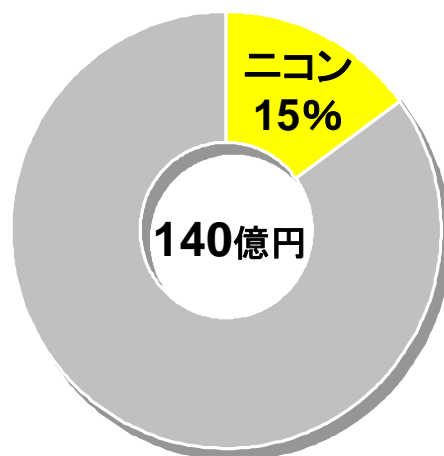


2013年3月期

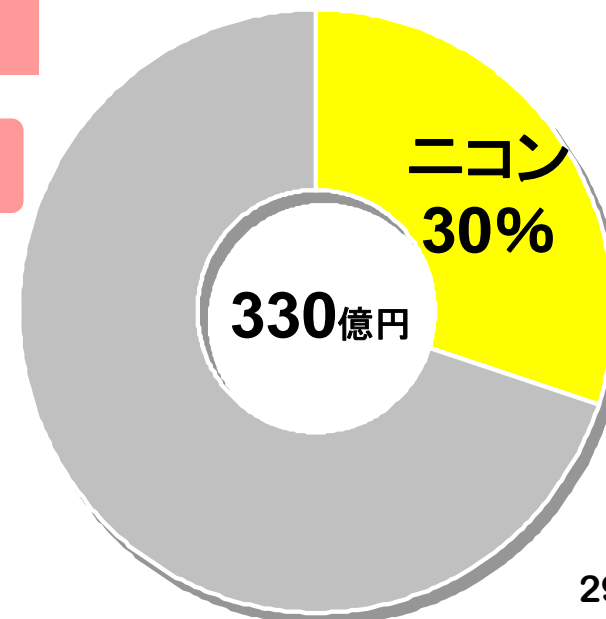


市場とシェア：非接触三次元測定機

2010年3月期



2013年3月期



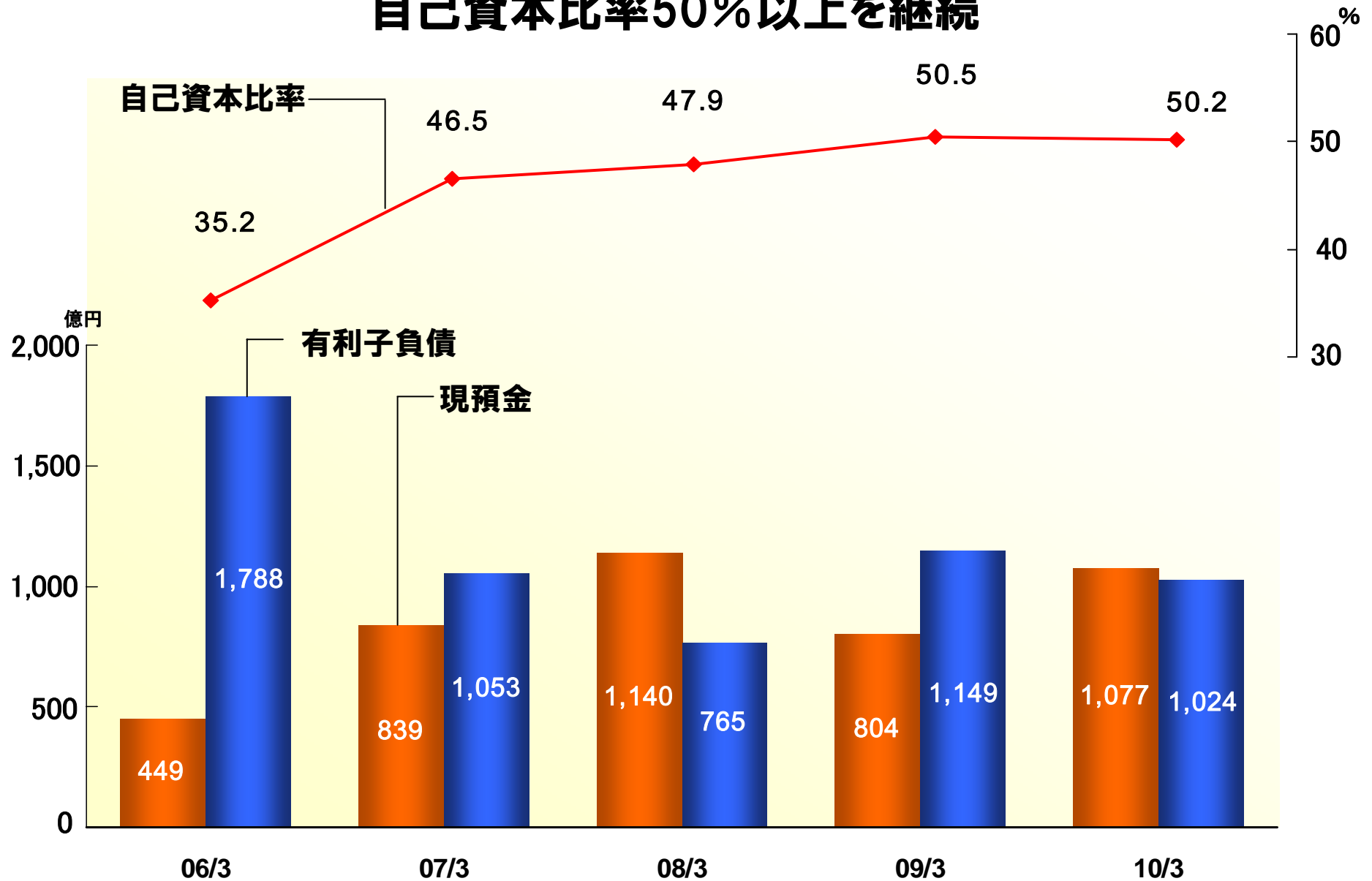
Agenda

- I. ニコングループが目指す姿
- II. 中期経営計画の概要
- III. カンパニー別経営計画
- IV. 財務体質と株主還元**
- V. まとめ

自己資本比率、現預金・有利子負債



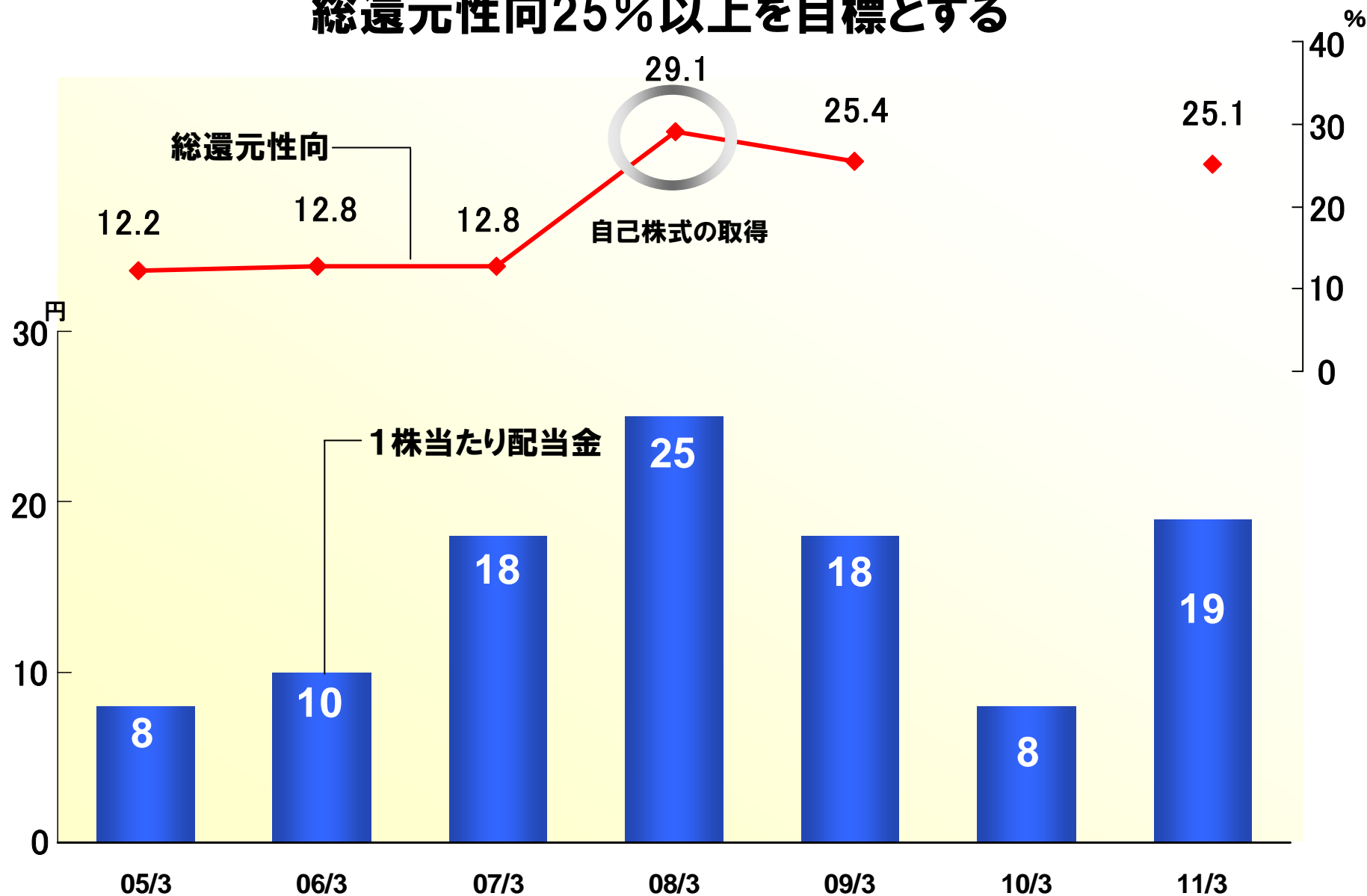
自己資本比率50%以上を継続



一株当たり配当金と総還元性向



総還元性向25%以上を目標とする



Agenda

- I. ニコングループが目指す姿
- II. 中期経営計画の概要
- III. カンパニー別経営計画
- IV. 財務体質と株主還元
- V. まとめ**

ニコングループは、常に新たな価値を提供し、成長し続けます

13年3月期

売上高
1兆1,000億円

営業利益
1,200億円